

様式

自己評価委員会報告書

自己評価委員会委員長

実施機関から提出された自己評価等報告書について、下記のとおり助言したので、委員会意見を付して報告します。

令和5年3月31日

(対象年度)

対象年度	令和3年度(2021年度)～
------	----------------

(評価対象)

実施機関名	入試委員会
-------	-------

(主な助言)

<ul style="list-style-type: none">・アドミッション・ポリシーと入試方法の整合性の取組みの状況を報告してください。・年度をまたぐ場合や継続している場合は、対象年度以降の状況を報告してください。

(自己評価委員会意見)

<ul style="list-style-type: none">・アドミッション・ポリシーに示す資質・能力等は、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標の水準を踏まえて設定する必要があることから、入学前に身につけておくことが望ましい資質・能力、それをどのように評価・判定するのかを分かりやすい表現で具体的に示していくこと。・「学力の3要素」と関連付けて、どのような基準・方法により評価・判定するのかを具体的に示すこと。・点検作業が形骸化しないように、適時、研修等を行うこと。

添付資料

- ・自己点検報告書(実施機関作成)

自己評価報告書

(評価対象)

実施機関名	入試委員会	代表者氏名	委員長
対象年度	令和3年度～	作成者氏名	委員長

(助言等事項)

助言等機関	自己評価委員会	助言等日	令和4年7月20日
-------	---------	------	-----------

- ・アドミッション・ポリシーと入試方法の整合性の取組みの状況を報告してください。
- ・年度をまたぐ場合や継続している場合は、対象年度以降の状況を報告してください。

(報告)

<ul style="list-style-type: none">・学生募集要項の作成作業にあたり、アドミッション・ポリシーと入試方法(選抜方法)の記載を入試委員会を確認している。(令和3年4月～6月)・危機管理マニュアル入試版を一部改定し、チェック項目「指定科目の学習内容を逸脱していない(募集要項に示した出題範囲)」の確認者として、出題委員以外に点検委員を配置している。(令和3年9月)・危機管理マニュアル入試版を一部改定し、チェック項目「問題がアドミッション・ポリシーに準拠したものになっている(学生募集要項に掲載されているポリシーに適合している)」を追加している。(令和4年9月)・各学科が「入試問題がアドミッション・ポリシーを満たしているか」の自己評価を実施し、入試委員会を確認している。(令和5年2月)

自己評価報告書

(評価対象)

実施機関名	英語英文学科・国際文化学科 (国際コミュニケーション学科)	代表者氏名	学科長
対象年度	令和5年度入試選抜	作成者氏名	学科長

(助言等事項)

助言等機関	入試委員会	助言等日	令和4年12月13日
<p>・募集要項に記載した入学選抜区分ごとの評価のポイントは、アドミッションポリシー(学力の3要素)をどのように満たしているか。</p> <p>・入学試験の出題は、評価のポイント(アドミッションポリシー)をどのように満たしているか。</p>			

(アドミッションポリシーと試験区分ごとの評価のポイントの現状)

さまざまな文化的背景をもった人々と協働し、地域と世界のつながりを意識しながらその持続的な発展のために行動する意欲をもった者の入学を求めています。日本を含むさまざまな国や地域の社会・文化について深く学ぶ意欲、コミュニケーションの手段としての英語や中国語・韓国語の習得に対する意欲をもった学生を歓迎します。

総合型選抜	グローバルかつローカルな視点から、国際化や多文化共生が進む社会で活躍できる人材の育成を目指しています。世界共通語としての英語や我が国と交流が深い中国語や韓国語の能力を身につけることに意欲のある学生、私たちの基盤となる日本の文化・社会の理解や日本語の能力を高めることに意欲のある学生、さまざまな文化的背景のある人々と協調して課題に取り組むことに意欲のある学生を募集します。	
I	小論文	(英語重視) 日本語論説文などを読んで読解する能力や、日本語で要約する能力などを問う。
	課題	(中国語重視、韓国語重視) スクーリングで配布する課題(中国語または韓国語での課題)を持ち帰って解き、出願時に他の書類と共に提出する。
	プレゼン	(日本や世界の言語・文化・社会重視、異文化交流体験重視) 自分が取り組んだ日本や世界の言語・文化・社会、異文化交流に関するプレゼンテーション。詳細はスクーリングにて説明する。5分程度。
	面接	積極性や主体性、協同性を確認するため、高校での学修状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問う。英語重視での受験を希望する者には基礎的な英語による面接を含む。中国語重視もしくは韓国語重視での受験を希望する者には中国語もしくは韓国語での発話を含む。
	書類審査	調査書、入学志望書、資格証書により評価する。
学校推薦型選抜	勉学に対する意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味をもち、関連する学力や能力に秀でた学生、課外活動やコンテストなどに積極的に取り組み活動してきた学生、各種検定試験・資格取得などに積極的に取り組んだ学生を募集します。	
一般推薦枠	小論文	論説文・随筆等を読んで読解する能力、要約する能力、自分の考えを論述する能力などを問う。
	面接	積極性や主体性、協同性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問う。
	書類審査	調査書、推薦書、入学志望書により評価する。
指定校推薦枠	口頭試問	志望する学科のアドミッションポリシーに沿って口頭試問を行う。
	面接	出願書類を参考に志望理由、学科への適正などを確認する。
	書類審査	調査書、指定校推薦書、入学志望書により評価する。

一般選抜	(特記なし)	
I A	学力検査	高等学校卒業程度の学力検査(必須:国語総合、英語 選択:大学共通テスト(地理歴史、公民、数学から1科目))
	調査書	(特記なし)
I B	学力検査	高等学校卒業程度の学力検査(必須:国語総合、英語)
	小論文	読解力や文章要約能力などを問います。
	調査書	(特記なし)
II	学力検査	大学入学共通テスト(必須:国語、英語・中国語・韓国語から1科目 選択:地理歴史、公民、数学から1科目)
	調査書	(特記なし)
III	学力検査	大学入学共通テスト(必須:国語、英語・中国語・韓国語から1科目 選択:地理歴史、公民、数学から1科目)
	調査書	(特記なし)
社会人選抜	すでに社会人としての経験を積み、あらためて短期大学で学び、教養を深めたい方、最新の専門的知識を得たい方を募集します、なお、他の学生に刺激を与え、相互に学習意欲を高め合うことも期待します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	履歴書等
帰国生徒選抜	勉学意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味を持ち、関連する能力に秀でた学生、異文化体験で身につけた様々な能力を持つ学生を募集します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	調査書及び履歴書等
留学生選抜	本学での授業を理解できる日本語能力があり、勉学意欲が旺盛な学生を募集します。日本人学生積極的に交流して、日本人学生に外国語学習や異文化理解への動機付けをしてくれることも期待します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	履歴書等

(出題とアドミッションポリシーの対応自己点検)

(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> 各入学選抜区分および入学試験の出題は概ねアドミッションポリシーに対応している。学力の3要素と試験科目の対象の明示と課題や調査書の評価方法を検討していく。 		
総合型選抜	(総括)	
	<ul style="list-style-type: none"> 小論文(英語重視)と面接はアドミッションポリシーに対応している。課題(中国語重視、韓国語重視)とプレゼン(日本や世界の言語・文化・社会重視、異文化交流体験重視)は、受験生にわかりやすい評価方法・視点等を検討していく。 	
I	小論文	<ul style="list-style-type: none"> (英語重視) 論説文は、英国におけるイングランドとスコットランドの関係に関するもので、読解力や表現力を確認している。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> (中国語重視、韓国語重視) 今回は中国語・韓国語の日本語訳の基礎力を問う課題としているが、より基礎力の確認に相応しい内容を検討していく。
	プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> (日本や世界の言語・文化・社会重視、異文化交流体験重視) 志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。
	面接	<ul style="list-style-type: none"> 入学志望書、調査書、資格証書の情報から入学後の学びの目的や高校での活動などを質問して評価している。それぞれの外国語での面

		接、発話を行って外国語能力を確認している。
	書類審査	・高校での学びや意欲を確認するため、推薦書、入学志望書を参考とし、評定値に基づき評価している。
学校推薦型選抜	(総括)	・小論文と面接はアドミッションポリシーに対応している。調査書、推薦書、入学志望書は面接での評価に用いているが、書類審査での推薦書、入学志望書の積極的な利用を検討していく。
一般	小論文	・論説文は、岐阜市での多言語表記に関するもので、要約、論述の能力を確認している。
	面接	・調査書や推薦書、入学志望書の情報から入学後の抱負、授業に取り組む姿勢、最近の関心事、課外活動等について質問して評価している。
	書類審査	・高校での学びや意欲を確認するため、推薦書、入学志望書を参考とし、評定値に基づき評価している。
指定校推薦枠	口頭試問	・志望する学科のアドミッションポリシーに沿った口頭試問を行って評価している。
	面接	・調査書や推薦書、入学志願書の情報から入学後の抱負、授業に取り組む姿勢、最近の関心事、課外活動等について質問して評価している。
	書類審査	・高校での学びや意欲を確認するため、推薦書、入学志望書を参考とし、評定値に基づき評価している。
一般選抜	(総括)	・国語総合、英語に加えてⅠAでは共通テストから選択1科目、ⅠBでは小論文を課すことで、Ⅱでは共通テストから3科目を課すことで、志願者の学ぶ意欲や学力を確認しており、アドミッションポリシーと対応している。調査書の利用を検討していく。以下で、一般選抜の評価のポイントを説明する。
ⅠA	学力検査	・国語総合の現代文では現代人の生き方を取り上げた文章の内容を把握する力を、古文では内容把握と文法の理解力を確認している。英語では、貧富の格差を取り上げた文章や手紙文を用い、読解力や、語彙・文法力を確認し、語順整序での英作文や、会話でのリスニング力を確認している。 ・共通テストから選択1科目を課すことで、志願者の学力を確認している
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
ⅠB	学力検査	・国語総合と英語の問題は、ⅠAと同じ。
	小論文	・出題文はジェンダーと研究者との関係に関するもので、要約、論述の能力を確認している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
Ⅱ	学力検査	・共通テストから3科目を課すことで、志願者の学力を確認している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
Ⅲ	学力検査	・共通テストから3科目を課すことで、志願者の学力を確認している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
社会人選抜	(総括)	・志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が

	考えられるので検討していく。
	小論文 ・特記なし
	面接 ・特記なし
	書類審査 ・特記なし
帰国生徒選抜	(総括) ・志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。
	小論文 ・特記なし
	面接 ・特記なし
	書類審査 ・特記なし
留学生選抜	(総括) ・志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。
	小論文 ・特記なし
	面接 ・特記なし
	書類審査 ・特記なし

自己評価報告書

(評価対象)

実施機関名	食物栄養学科 (健康栄養学科)	代表者氏名	学科長
対象年度	令和5年度入試選抜	作成者氏名	学科長

(助言等事項)

助言等機関	入試委員会	助言等日	令和4年12月13日
<p>・募集要項に記載した入学選抜区分ごとの評価のポイントは、アドミッションポリシー(学力の3要素)をどのように満たしているか。</p> <p>・入学試験の出題は、評価のポイント(アドミッションポリシー)をどのように満たしているか。</p>			

(アドミッションポリシーと試験区分ごとの評価のポイントの現状)

<p>栄養士免許取得を目指す者を受け入れ、その者に対して栄養士になるための教育を施すことを基本方針としています。栄養士は食と栄養の専門家として専門性を発揮し、国民の栄養改善、健康増進、疾病予防など重要な役割を担い、国民の医療費削減に貢献することが期待されています。「健康・栄養・食」に関わる諸問題に関心がある者の入学を求めています。将来、栄養士となり、人々の健康・医療・福祉のために貢献したい強い意志を持っている学生を歓迎します。</p>		
総合型選抜	<p>栄養士を養成しています。人生100年時代、日本はいまや少子・高齢化社会を迎え、要介護者の増加に伴う介護費の増加や生活習慣病による国民医療費の増加などが社会問題となっています。このような時代、ますます社会から期待され、活躍の場が広がる栄養士。栄養士に関心のある学生の入学を期待しています。この入試では、アドミッションポリシーを十分に理解したうえで、栄養士を目指して人々の健康・医療・福祉のために貢献したい強い意志を持つ学生の選抜を行います。</p>	
I	小論文	最近の食・健康・環境問題などの話題について出題し、自分の考えを記述する。
	面接	アドミッションポリシーを十分理解し、学習意欲や動機または必要な基礎的な知識を問う。
	書類審査	調査書、入学志望書、資格証書により評価する。実用英語技能検定準2級以上の証明書があれば、加点する。
II	小論文	最近の食・健康・環境問題などの話題について出題し、自分の考えを記述する。
	面接	アドミッションポリシーを十分理解し、学習意欲や動機または必要な基礎的な知識を問う。
	書類審査	調査書、入学志望書、資格証書により評価する。実用英語技能検定準2級以上の証明書があれば、加点する。
学校推薦型選抜	<p>勉学に対する意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味をもち、関連する学力や能力に秀でた学生、課外活動やコンテストなどに積極的に取り組み活動してきた学生、各種検定試験・資格取得などに積極的に取り組んだ学生を募集します。</p>	
一般推薦枠	小論文	英語・数学・国語・理科・社会の基礎学力を問う問題を含む。
	面接	積極性や主体性、協同性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問う。
	書類審査	調査書、推薦書、入学志望書により評価する。
指定校推薦枠	口頭試問	志望する学科のアドミッションポリシーに沿って口頭試問を行う。
	面接	出願書類を参考に志望理由、学科への適正などを確認する。
	書類審査	調査書、指定校推薦書、入学志望書により評価する。
一般選抜	(特記なし)	

I	学力検査	高等学校卒業程度の学力検査(2科目選択：国語総合、英語、数学Ⅰ・数学A)
	調査書	(特記なし)
II	学力検査	大学入学共通テストの成績(必須：国語、英語 1科目選択：数学、理科)
	調査書	(特記なし)
III	学力検査	大学入学共通テストの成績(必須：国語 1科目選択：英語、数学、理科)
	調査書	(特記なし)
社会人選抜	すでに社会人としての経験を積み、あらためて短期大学で学び、教養を深めたい方、最新の専門的知識を得たい方を募集します、なお、他の学生に刺激を与え、相互に学習意欲を高め合うことも期待します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	履歴書等
帰国生徒選抜	勉学意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味を持ち、関連する能力に秀でた学生、異文化体験で身につけた様々な能力を持つ学生を募集します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	調査書及び履歴書等
留学生選抜	本学での授業を理解できる日本語能力があり、勉学意欲が旺盛な学生を募集します。日本人学生積極的に交流して、日本人学生に外国語学習や異文化理解への動機付けをしてくれることも期待します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	履歴書等

(出題とアドミッションポリシーの対応自己点検)

(総括) ・各入学選抜区分および入学試験の出題は概ねアドミッションポリシーに対応している。総合型選抜Ⅰ・Ⅱ、学校推薦型選抜の小論文の平均点は、一般的に高く、受験生は学科が示したアドミッションポリシーを参考に対策を講じていたことが窺える。学力の3要素と試験科目の対象の明示と課題や調査書の評価方法を検討していく。		
総合型選抜	(総括) ・小論文と面接はアドミッションポリシーに対応している。書類審査での調査書、入学志望書の配点加重を検討していく。	
I	小論文	・代替食品に関する問題を出題し、自分の考えを記述させている。
	面接	・アドミッションポリシーに則して、学習意欲や動機または今回出題した小論文の内容について口頭試問を行っている。
	書類審査	・調査書、入学志望書、資格証書により評価した。実用英語技能検定準2級以上の証明書があれば、加点している。
II	小論文	・食育に関する問題を出題し、自分の考えを記述させている。
	面接	・アドミッションポリシーに則して、学習意欲や動機または今回出題した小論文の内容について口頭試問を行っている。
	書類審査	・調査書、入学志望書、資格証書により評価した。実用英語技能検定準2級以上の証明書があれば、加点している。
学校推薦型選抜	(総括) ・小論文と面接はアドミッションポリシーに対応している。書類審査での調査書、推薦書、入学志望書の配点加重を検討していく。	
一般推薦枠	小論文	・食・健康などに関する基礎的な英単語を問う問題や計算問題、食品の消費期限・賞味期限の知識や自分の考えを記述させている。
	面接	・積極性や主体性、協同性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などについて口頭試問を行う

		ている。
	書類審査	・高校での学びや意欲を確認するため、推薦書、入学志望書を参考とし、評定値に基づき評価している。
指定校推薦枠	口頭試問	・積極性や主体性、協同性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などについて口頭試問を行っている。
	面接	・調査書や推薦書、入学志願書の情報から入学後の抱負、授業に取り組む姿勢、最近の関心事、課外活動等について質問して評価している。
	書類審査	・高校での学びや意欲を確認するため、推薦書、入学志望書を参考とし、評定値に基づき評価している。
一般選抜	(総括) ・Iでは、国語総合、英語、数学I・数学Aから2科目の選択を課すことで、II・IIIでは共通テストから選択科目を課すことで、志願者の学ぶ意欲や学力を確認しており、アドミッションポリシーと対応している。調査書の利用を検討していく。一般選抜の評価のポイントを説明していく。	
I	学力検査	・国語総合の現代文では、現代人の生き方を取り上げた文章の内容を把握する力を、古文では内容把握と文法の理解力を確認している。英語では、貧富の格差を取り上げた文章や手紙文を用い、読解力や、語彙・文法力を確認し、語順整序での英作文や、会話でのリスニング力を確認している。 ・数学I・数学Aでは、共通と選択の問題を設定し、数学知識の理解、思考力、計算力を問う問題とし、思考過程を記述させている。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
II	学力検査	・共通テストから3科目を課すことで、志願者の学力を確認している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
III	学力検査	・共通テストから2科目を課すことで、志願者の学力を確認している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
社会人選抜	(総括) ・小論文と面接はアドミッションポリシーに対応している。書類審査での調査書、推薦書、入学志望書の配点加重を検討していく。	
	小論文	・食・健康などに関する基礎的な英単語を問う問題や計算問題、食品の消費期限・賞味期限の知識や自分の考えを記述させている。
	面接	・積極性や主体性、協同性を確認するため、社会人としての経験及び入学後の抱負などについて口頭試問を行っている。
	書類審査	
帰国生徒選抜	(総括) ・志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。	
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし
留学生選抜	(総括) ・志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。	

小論文	・特記なし
面接	・特記なし
書類審査	・特記なし

自己評価報告書

(評価対象)

実施機関名	生活デザイン学科 (デザイン環境学科)	代表者氏名	学科長
対象年度	令和5年度入試選抜	作成者氏名	学科長

(助言等事項)

助言等機関	入試委員会	助言等日	令和4年12月13日
<ul style="list-style-type: none"> 募集要項に記載した入学選抜区分ごとの評価のポイントは、アドミッションポリシー(学力の3要素)をどのように満たしているか。 入学試験の出題は、評価のポイント(アドミッションポリシー)をどのように満たしているか。 			

(アドミッションポリシーと試験区分ごとの評価のポイントの現状)

生活に関わる必要かつ重要なデザインの発想および提案を基盤とした教育を行います。持続可能な社会の実現において、様々な問題を解決するために、デザインの中でも、ファッション、建築・インテリア、ヴィジュアル・情報の分野に関する知識・能力を身につけて社会に貢献したいという強い意志を持った者の入学を求めています。地域との連携による実践的な取り組みに積極的に参画する意欲を持った学生を歓迎します。		
総合型選抜	ファッション/建築・インテリア/ヴィジュアル・情報の3領域に関する知識・能力を生かして持続可能社会の構築に貢献する人材を育成する学科です。スクーリング・プレゼンテーションを通じて、本学科の教育内容・理念を受験生に理解してもらうとともに、本学科の教育内容に対する受験生の適正を評価します。本学科の授業は、講義・実験・実習・演習はもちろん、机上の学問に終始するのではなく、地域社会の中で実践を通して知識と技術を身につけます。そのような実践的な活動に対して興味と関心を持ち、率先して参加するような、向上心あふれる意欲的な学生を募集します。	
I	小論文	与えられたテーマに対し、社会情勢や自分の考えを論述する能力などを問う。
	プレゼン	独自で定めたテーマに対し、調査・考察及び、必要に応じて制作をし、それらを発表する能力などを問う。ただし、質疑応答を含む。
	書類審査	調査書、入学志望書により評価する。
II	小論文	与えられたテーマに対し、社会情勢や自分の考えを論述する能力などを問う。
	プレゼン	独自で定めたテーマに対し、調査・考察及び、必要に応じて制作をし、それらを発表する能力などを問う。ただし、質疑応答を含む。
	書類審査	調査書、入学志望書により評価する。
学校推薦型選抜	勉学に対する意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味を持ち、関連する学力や能力に秀でた学生、課外活動やコンテストなどに積極的に取り組み活動してきた学生、各種検定試験・資格取得などに積極的に取り組んだ学生を募集します。	
一般推薦枠	小論文	国語の基礎学力を問う問題を含む
	面接	積極性や主体性、協同性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問う。
	書類審査	調査書、推薦書、入学志望書により評価する。
専門高校枠	デザインという学科の特性上、「ものづくり」に関する実習・演習が多くあります。そのような生活デザインに関わる領域(被服・住居などに家政系・工業系領域及び美術・デザイン領域)に対して、(学力だけで測れない)専門学校で学んだ知識・技	

	術を評価し、専門に関して特に顕著な業績を残した学生を募集します。	
	小論文	国語の基礎学力を問う問題を含む
	面接	積極性や主体性、協同性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問う。
	書類審査	調査書、推薦書、入学志望書、資格証書により評価する。
指定校推薦枠	口頭試問	志望する学科のアドミッションポリシーに沿って口頭試問を行う。
	面接	出願書類を参考に志望理由、学科への適正などを確認する。
	書類審査	調査書、指定校推薦書、入学志望書により評価する。
一般選抜	(特記なし)	
I	学力検査	高等学校卒業程度の学力検査(必須：英語 選択：国語総合、数学Ⅰ・数学A、実技(描写力と表現力を考査する)から1科目)
	口頭試問 (面接)	(特記なし)
	調査書	(特記なし)
II	学力検査	大学入学共通テストの成績(必須：英語 選択：国語、数学、理科から2教科2科目)
	調査書	(特記なし)
III	学力検査	大学入学共通テストの成績(選択：英語、国語、数学、理科から2教科2科目)
	調査書	(特記なし)
社会人選抜	すでに社会人としての経験を積み、あらためて短期大学で学び、教養を深めたい方、最新の専門的知識を得たい方を募集します、なお、他の学生に刺激を与え、相互に学習意欲を高め合うことも期待します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	履歴書等
帰国生徒選抜	勉学意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味を持ち、関連する能力に秀でた学生、異文化体験で身につけた様々な能力を持つ学生を募集します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	調査書及び履歴書等
留学生選抜	本学での授業を理解できる日本語能力があり、勉学意欲が旺盛な学生を募集します。日本人学生積極的に交流して、日本人学生に外国語学習や異文化理解への動機付けをしてくれることも期待します。	
	小論文	(特記なし)
	面接	(特記なし)
	書類審査	履歴書等

(出題とアドミッションポリシーの対応自己点検)

(総括)		
・各入学選抜区分および出題内容はアドミッションポリシーに対応している。評価項目、試験科目の妥当性について検討し、受験生が理解しやすい内容に改良していく。		
総合型選抜	(総括)	
	・プレゼンテーションを通じてデザインを学ぶことについての意欲の確認を行うことを目的としており、本学科のアドミッションポリシーと適合している。	
	・総合型選抜Ⅱについては志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。	
I	小論文	・デザインの優位性について日常生活の中から具体例を挙げ論ずることにより、論述能力の確認を通して基本的な学力を評価している。
	プレゼン	・スクーリング時の個人面談においてテーマに沿った個別テーマの選

		<p>択についてアドバイスをを行い、プレゼンテーションを通じてデザインを学ぶことについての意欲を評価・確認している。</p>
	書類審査	<p>・推薦書、入学志望書を参考とし、デザインについての学びの意欲を可確認し、評定値を換算して評価している。</p>
II	小論文	<p>・特記なし</p>
	プレゼン	<p>・特記なし</p>
	書類審査	<p>・特記なし</p>
学校推薦型選抜	<p>(総括)</p> <p>・小論文・面接により、学習や学科の活動に積極的に取り組む意欲を有するかを評価する内容とすることで、アドミッションポリシーとの適合するようにしている。</p>	
一般推薦枠	小論文	<p>・過去に得た知識や経験についての理解を記述させることで、読解力や表現力を確認している。</p>
	面接	<p>・学習姿勢、分野理解、意思伝達能力について試問により確認を行っている。</p>
	書類審査	<p>・高校での学びや意欲を確認するため、推薦書、入学志望書を参考とし、デザインについての学びの意欲を確認し、評定値に基づき評価している。</p>
専門高校枠	<p>(総括)</p> <p>・一般推薦枠と同様の評価項目としているが、小論文と書類審査について専門高校で学んだ知識・技術の評価する内容とすることで、アドミッションポリシーとの適合するようにしている。</p>	
	小論文	<p>・過去に得た知識や経験について、高校で専門的に取り組んだ内容についての理解を記述させることで、読解力や表現力を確認している。</p>
	面接	<p>・学習姿勢、分野理解、意思伝達能力について試問により確認を行っている。</p>
	書類審査	<p>・推薦書、入学志望書を参考とし、デザインについての学びの意欲を可確認し、評定値を換算して評価している。また、取得した資格等を加点することで、専門知識・技術を評価している。</p>
指定校推薦枠	口頭試問	<p>・学習姿勢、分野理解、意思伝達能力について試問により確認を行っている。</p>
	面接	<p>・調査書や推薦書、入学志願書の情報から入学後の抱負、授業に取り組む姿勢、最近の関心事、課外活動等について質問して評価している。</p>
	書類審査	<p>・高校での学びや意欲を確認するため、推薦書、入学志望書を参考とし、評定値に基づき評価している。</p>
一般選抜	<p>(総括)</p> <p>・一般選抜Ⅰでは英語を必須科目、国語総合、数学、実技より選択1科目により、ⅡおよびⅢでは共通テストから3科目ないしは2科目を課すことで、志願者の学ぶ意欲や学力を確認しており、アドミッションポリシーと対応している。さらに一般選抜Ⅰでは口頭試問により学科教育との整合性を確認した。口頭試問については目的および効果が不明確であるため、今後検討を行っている。</p>	
I	学力検査	<p>・「英語」では読解力、英作文能力、リスニング力を確認している。「国語総合」では文章把握能力の確認を、「数学」においては計算・論理分析能力の確認を、「実技」においては描写力と表現力の確認を行っている。</p>
	口頭試問(面接)	<p>・学習姿勢、分野理解、プレゼンテーション(意思伝達能力)について試問により確認を行っている。</p>

	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考とし、口頭試問での学習意欲の評価の参考としている。
Ⅱ	学力検査	・共通テストから 3 科目を課すことで、志願者の学力を確認している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での学修状況を参考としている。
Ⅲ	学力検査	・共通テストから 2 科目を課すことで、志願者の学力を確認している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での学修状況を参考としている。
社会人選抜	(総括) ・志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。	
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし
帰国生徒選抜	(総括) ・志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。	
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし
留学生選抜	(総括) ・志願者がいなかったことから、出願資格や選抜方法が不明確であった可能性が考えられるので検討していく。	
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし